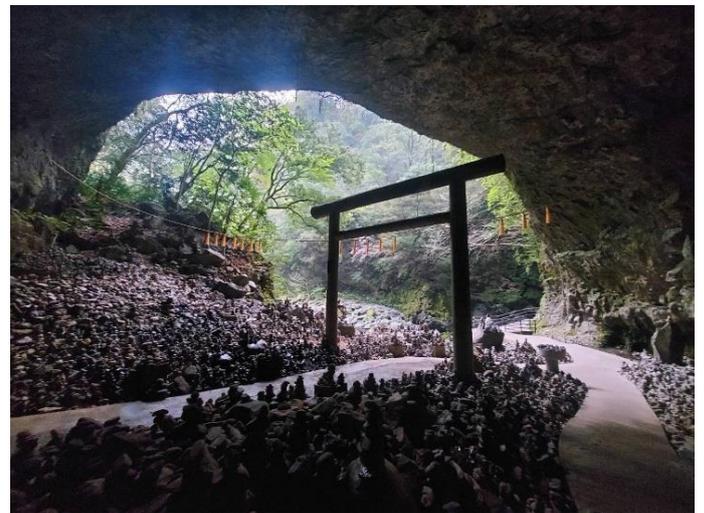


PHOTO SANPO

by
まふらぶ

テーマ:神社



きままにティーンズエッセイ

by
ヤッホー

～ジャック・オー・ランタンについて～

ジャック・オー・ランタン、最初はカブだったことをご存知ですか？由来はアイルランドに伝わるランタン持ちの男の話。かつてジャックという男がいました。ある時彼は悪魔と、自分が死んでも地獄に落ちないように契約をします。しかし、彼は死後、生前の生き方が原因で天国に行けず、また契約のせいで地獄にも行けませんでした。そして永久に暗闇をさまよい歩くことになった彼は、悪魔にお願いして種火をもらい、落ちていたカブをくりぬいてランタンを作ったといわれています。

この話がアメリカに伝わったときカブよりも手に入るカボチャで作られました。こういった経緯で世界にカボチャのジャック・オー・ランタンが広まったのです。

参考：NZ 便利帳「Halloween (ハロウィン) の知るともっと面白い雑学」

〈<https://nzbenricho.com/halloween-knowledge/>〉



～中高生むけ図書館だより～

OWL NEWS



ティーンズスタッフ：#0

2021. 秋号 (2021. 10. 1発行)

わたしたちのおすすめ本

青春奇譚をどうぞ



『四畳半神話大系』

森見登美彦／著 (KADOKAWA／角川文庫)

京都大学に入学し、薔薇色のキャンパスライフを夢見ていた「私」だったが、三回生になってもらくな大学生活は送れず、四畳半の狭い部屋でその虚しさに暮れるだけの日々。さらには小津という最低最悪な友人と出会って振り回されてばかり…。個性的すぎる人物たちに翻弄される中で、「私」は密かに想いを寄せる黒髪の乙女・明石さんと恋仲になることはできるのかー。

大学入学時の選択次第で四つのパラレルワールドが描かれる短編集。

馬鹿馬鹿しいことばかりで、すごく面白いけれど、大切なことを教えてくれる作品です。ぜひ、読んでみてください。

(ティーンズスタッフ：メソッドレッド)

外からみた日本

『一度も植民地にならなかったことがない日本』

デュラン・れい子／著 (講談社)

みなさんは日本のことを客観的に見て、どういう国なのか考えたことがありますか？

この本には海外からみた日本の魅力、反対にあまり良くない面など、日本で暮らしているからこそ気が付かない意外な日本について色々書かれています。デュランさんのツッコミにも笑えます。少しでも気になったのなら、ぜひ手にとってみてください。

(ティーンズスタッフ：夏夜)



少女たちの成長物語

『よろこびの歌』
宮下奈都／著
(実業之日本社)

有名なヴァイオリニストの娘で音楽を志す御木元玲は、音大付属高校の受験に失敗し、音楽とは無縁の新設女子高校に進む。

そこには玲だけでなく様々な挫折や事情を抱える生徒たちがいた。そんな彼女たちが校内合唱コンクールをきっかけに、前を向いて成長していく物語。

主人公を変えながらの連作短編集となっていて、話一つ一つが繋がっていくので読み始めたら止まりません！この作品が原点となって書かれた『羊と鋼の森』や続編の『終わらない歌』もあるので、是非読んでみてください！（ティーンズスタッフ：メソッドブルー）



『鳥に単は似合わない』

『鳥は主を選ばない』

阿部智里／著（文藝春秋）

后に選ばれるのは、だれ？

「山内」と呼ばれる、人ならざる「八咫鳥」^{やたがらす}たちが住まう世界。その中心部にある桜花宮で、ここを司る一族の世継ぎである若宮、その后を選ぶための儀式が始まっていた。大貴族から送られてきた四人の候補者たちは、それぞれの思惑を抱え后を目指す。しかし、儀式はなぜか一度も姿を現さない若宮、行方不明者、殺害事件など不穏な動きを見せ始める。事件の真相とは、そしていったい最後に后になるのは誰なのかを描く「鳥に単は似合わない」。貴族たちの思惑の中、若宮はいったい何をしていたのかを側仕えの雪哉を通して描く『鳥は主を選ばない』。ぜひ読んで、美しい山内の世界を体感してほしい。

（ティーンズスタッフ：箱庭）

